

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合
発行 昭和49年9月10日 第14号 ・印刷 アート印刷株式会社



最近発表された経済白書によると、日本のインフレは海外諸国のインフレ要因六十%、国内の需給ひっ迫によるもの四十%だという。

消費者物価はイギリスを抜いて、世界最高の状態、資源の少ない日本は石油を始めとして輸入にゆだねるものが多いだけに、常にきょう戚にさらされる。酪農では逆に牛価格の低落、消流の停滞が続き、更に輸入飼料がこしも凶作だというから正に最悪の年となった。

食糧危機、自給度の向上がいわれ、各国とも備蓄体制をとりつゝあるが、日本の場合残念な長期的な農政策が明確にされていない。全くやりきれない気持だ。

牛肉は過大な輸入政策の失敗によるもの、また複雑な流通機構が、消費のダウンとなった。消費拡大運動は未だ効果が現われていない模様、而し最近になって漸く農林省が「指定食肉」の価格安定制度を打ち出したが、これは五十年からの予定だ。只輸入肉は底をついた模様だが、素牛では目下価格の期待は薄い。随って肥育遂行うと、ある程度価格が期待できるので、多頭飼育者は系統の肥育方式で当面、対策を講じていただきたいと思う。今後肥育から食肉加工、そして販売網の一貫体制作りが必要と考える。乳質が最近低下している。

今回関係機関と共に、一斉啓蒙推進に当たったが、何といつても器具の洗じよう、冷却の習慣づけが大切、目下根室管内で最低なので、問題点究明と共に何分ご努力をお願いしたい。懸念された作況も幸いかなり回復の状況にあるが馬鈴薯は種子用に移出が大巾増加しており、工場運営に支障が生ずるので生産者皆さんと充分協議し、この対策にご協力をいたゞきたい。

農協経営の原点は組合員の相互扶助による協同活動であり経済的利益の追求と生活防衛にあると思う。而し現実はいんフレ下のなかにあり、また農政上の問題等があり、いいようなないジレンマを感じるが、何卒厳しい逆境を打破されるよう念願する次第である。

『牛肉消費拡大運動』 先鞭を続ける中標津農協



観光まつりの大平原焼肉は大好評。
当日、牛肉は30分で売り切れた。

近年、肉用牛の育成、肥育をし、販売する組合員が多くなり、今年の販売予定頭数は四千九百頭であるが農家にとっては、売り安に加

えて、買い手なしと飼育した肉用牛も出荷できずにいる。

この情勢は「非常事態」である

と、道内農協が、農林省、政府に対策を求めてきた。

農政の安定を要望すると共に、牛肉の消費拡大運動を行うことになった。

特に北海道緊急乳用雄牛肉対策推進本部を設け、「おいしい肉、養たつぷり、さすが牛肉ネ。」をキャッチフレーズにピーアールを行っている。

中標津農協ストアでは六月下旬から、スキヤキ用が百二十円、ステーキ用を百四十円で「直売」に踏み切り、牛肉小売り価格の、高価凍結の壁に挑戦をした。このことが報道機関の積極的な協力も得て、大きな反響を呼び、牛肉の消費価格が町民の食卓に抵抗なくのせられる身近な価格となり、その次には、さらに牛肉を家庭でおいしく食べられる料理法を普及し消費量を多くしてもらおうと、料理講習会を催した。

中標津町婦連協、農協婦人部役員さんらの参加で、釧路料理高等学校長の氷見愛子さんを講師に、七種類の料理実習と試食を行い、大いに牛肉が羊肉等より舌になじみやすい事を知ってもらい、消費協力を頼んだ。

また、八月十三日には組合員各戸に「友愛ビーフ」として乳用雄牛肉、一キロを宅配し、農家自からも消費をする姿勢を正した。

一日で宅配を終り、四百三十キロを消化し、これをきっかけに、農協ストアで買物をする時、牛肉を買物かごに入れてほしい。

今後も牛肉消費拡大運動は続けられるが、「なかしべつ観光まつり」には、牛肉を提供して、大平原焼肉バーテイが丸山公園内で行われた。

牛肉も

『安定価格帯制』

なお、畜産振興審議会は八月十二日、全員懇談会を行い、苦境に陥っている国内の肉用牛や養鶏生産者に対し、政府が考えている対策と飼料の価格安定策について農林省から説明を聞き、意見を交換した。その結果 ①配合飼料は、いまある価格安定基金に、保険という再保険にあたる「親基金」をつくる。②牛肉は、いま豚肉に対し上限価格と下限価格を決め、その範囲内で卸価格が動くようにしているのと同じ安定価格制度をつくる。等の意見が大勢を占めた。

これらの事を片柳会長が、倉石農相に口頭で意向を伝える事にし農林省としても、五十年代からこれらの価格安定対策を強化したいとしている。

配合飼料については現在、畜産

農家などが積み立てて、価格が上がったときには、それを取り崩して補てんする、価格安定基金が三つある。しかし、いずれも飼料価格の暴騰でパンクしており、これから三つの基金の機能が役立つよう、国と現行三基金が出資して「親基金」を作ろうというもの。

「配合飼料価格安定機構」(仮称)を設けて、その出資比率も、農業団体が三分の一、国が三分の二と国の強いテコ入れを望んだ。

牛肉については、豚肉に対していまやっている安定価格帯制度、基金を積み一定価格以下になったら生産者に補てんする基金方式、一定価格以下になったら政府機関が補給金を出す不足払い方式の三つが考えられるが、基金と不足払い方式については生産者側委員から、農家の負担増と牛肉生産の「安楽死」につながるとして、反対の声がでた。ただ、安定価格帯制度を発足させるまでには、約一年間程の時間がかかるので、応急対策として、不足払い制度を考えるべきとの意見もでた。

また沢田畜産局長が「将来、牛肉の需要がふえ、輸入にある程度頼らざるをえない。そのためにも国内畜牛肉の価格安定制度の確立を急ぎたい」と述べたのが注目された。

北海道電力から

電気利用と設備について

当地域の電気は昭和四十二年度から四十八年度までに、北電が共同自家受電の移管をうけてから早い地域で七年を経過しました。

常に地域社会の発展向上のために安定した電力供給の確保と、サービスの向上、ならびに供給信頼度向上にためざる企業努力をしております。

特に最近の酪農業においても大型機械化の導入によって労働力の緩和、諸作業の合理化、省力化が実現されつつあります。

これらの酪農業の基盤も電力なくしては発展がないとまでいわれており、電力の利用はますます高度化、拡大化されてきましたが、これにひきかえ、省エネルギー時代を迎え電力の有効利用が重要視される時代となってきました。

この地域も昭和四十八年度より八ヶ年計画により、農漁村動力電気導入事業による酪農三相化工事が進められ、一部工事が完了し生産体制に入った地域もあります。当社では皆様が使用される需要内容(確定したもの)を農協でまと

めたのを、配電設備を設計し工事の促進をしております。

この計画内において、需要家の変更(確定需要の変更)はしないように、強く国から事業主体が指示されていますが、初年度に於て大幅に変更されているのが実情であります。

皆様に北電からお願いしたいことは、最近、機械の開発もいちじるしく、隣で機械を入れたから自分も購入する、また、セールスマンにすすめられたから導入するというのではなく、皆様各自が、電力導入機器は何と何であるかを今一度確認されて、農協と十分協議のうえ、導入機器の容量を決定していただきたい。

電気設備は、皆様方の需要容量に基づいて設備しておりますので計画以外に需要がでますと、電気設備は根本的に崩れて供給信頼も低下します。

また、契約以外の機器を使用されることは、不点事故につながり、波及事故となつて一戸のために隣近所が迷惑をする結果となります。

お互いに電気の事故を起さないように注意してほしいのです。

契約以外の電気機器を使用する場合は必ず農協に連絡するか、当社事業所に申し込んでから使用するようにして下さい。

電気の不点事故が起きたら、すぐ農協に連絡をとり、連絡放置のままでは、早朝とか夜遅くなつてから修理依頼ということのないように、自分の事だけを考えずに相手の身になって、互助の精神で広域地のあなたの電気を守って下さるようお願いいたします。

一、酪農電化三相工事完了地域で三ヶ年以内(四十九年から五十二年)に低圧電力の増設または導入機種、容量が変更になる場合は、尾藤電気商會が農協を通じて申込みして下さい。

二、新設、増設等で使用される生産用単相機器(例えばミルクカーユニットクーラー百ボルト用等)については契約上、低圧用電力で申込み下さい。

三、臨時に電気を使用される場合、例えば牛舎または住宅の新増改築等で大工さんが使われる電気機器、また契約以外の機器(溶接器等)についても申込んでから使用下さい。

四、契約以外の電気機器を使用しないようにご協力願います。

チョッピリ痛い

プロパン値上げ

食欲の秋を迎えたが、消費者にとって食欲を感じさせないほどの諸物価値上げの秋である。

その先陣を切つて政府は八月二十日からプロパン十・当り二〇〇円の値上げを決定した。

中標津農協も片道二〇km、三〇kmの組合員への供給上輸送費等の増大は、町の業者とは比較にならないものがある。しかし消費者の立場も充分に考慮し十kg当り一五〇円の値上げにとどめ、一六〇〇円と決定し期日も九月一日からとした。尚メーカー販売料金の算

定基準も従来の十kg四五〇円、公認を四七〇〇円に改定し料金を設定、消費者負担の軽減を計ったが、台所への影響はチョッピリ避けられない。

この地域にとって、燈油の需要期を目前に消費者と通産省等との攻防は激しいものがあり、政府は容易に標準価格を決めかねているしかし、推定では現在の農協価格ドラム七〇〇〇円、十八リットル一缶三三〇円位が考えられ大巾値上は避けた。一方量的にはどうか。今後産出国に異常事態の発生あるいは元売りの悪徳商法による出荷規制等がない限り、現在の国内備蓄量等から見て、まずまず心配はない見通しである。

完成した

石油備蓄施設



組合だより十三号で紹介した、石油備蓄施設は天候不順のため予定よりおくれ、七月下旬合理化廠粉工場敷地内に見事に完成した。

この施設は円型二〇〇K(二〇万リットル入)の地上タンク二基で軽油、燈油をそれぞれ備蓄し、今後の非常事態に対応しようとするものであり、組合員にとっても、その機能が十分に期待されるが、それ以上にこの施設が永久に無用の長物といわれるような平和な経済、社会であることを先ず祈りたいものである。

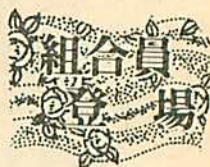


1、家族の状況

氏名	続柄
1 安達 武蔵	経営主
2 いその	妻
3 和永	3男
4 啓子	3妻
5 憲彦	長男
6 智恵子	長女
7 こま	母
8 艶子	6女
計	8人

安達家とその経営地は中標津市街から武佐山麓のはぼ中央で、標津町界に近いところにある。

数年前にヨーロッパ旅行をして



48年に目標達成

安達武蔵さん

みて自分がもっていた、根室酪農に対する考え方に自信をもったと話してくれました。

世界各酪農国と比べて、根室内

2、土地の状況

總所有地	改良草地（更新後7年以内草地）				永年草地（8年以上の草地）			
	採草地	採草地	放牧地	小計	採草地	採草地	放牧地	小計
77.0ha	47.0ha	ha	8.0ha	55.0ha	ha	ha	6.5ha	6.5ha

普通畑	山林原野				左の内放牧利用	施設地
	植林	山林	原野	小計		
0.3ha	12.0ha	1.2ha	13.2ha	() ha	2.0ha	

3、家畜の状況

25ヶ月以上	乳		牛	
	13-24ヶ月	1-12ヶ月	計	
60	7	1	68	

昭和六・七年の冷害により当時の佐上道長官によって、八割助成のエアリーシャ種が乳牛として導入された。当時の生計は細作物と馬を四頭か五頭売却してまかなわれた。

昭和二十七年に町議会議員に部属の推せんによって町議会議員に。現在も在職中で、これまで農協理事、農共済理事、農業委員等と多くの公職に精励されている。また四十七年に北海道農業指導上も任命されている。

また、奥さんも農協婦人部長として活躍され、町婦連協、根室管内農協婦連協役員としても指導力を発揮している。

後継者 和永さん夫妻

この家庭は非常に明るい印象を与えてくれる。可愛いさかりの二人の孫のせいもあるが、和永さん夫婦の性格も大きな原因と両親は喜んでいる。

和永さんとの一問一答

―農業三代目として、また両親がこの経営基盤を造ってくれたのです。今後の目標は―

乳牛個体の改良を高めて乳量増を図りたい。頭数は搾乳牛五十頭でやっていきたい。

―経営権が移行してくるが―

徐々に移ると思うし、両親が健在なうちは総体的にみてもらえるので特別な負担とは思えない。今後この地域の青年として―

みんが乳牛改良に努力している

陸は恵まれ多く条件も整っていると思う。この条件を活用して、搾乳に意欲を集中して励んでほしいと思う。

過重労働をさせ家族の労力内で合理化を計り、いかに人間らしい生活をするかが課題でもありましたが、何とかやっていける見通しはできました。

搾乳牛五十頭に目標を樹てる

三十五年当時は搾乳牛七頭、育成牛六頭であったが、所有地と条件を考え、経営規模を草地六十町で五十頭搾乳と計画を樹てた。

三十七年には、それまで不完全であった簿記を完全記帳することができた。三十七年の総所得額が百六十九万円、経営費が百三十三万円、家計費は五十二万円であった。四十八年に搾乳牛五十頭の目標達成をみた。

その年の総収入額は三十七年の約十倍となった。

大正八年に現地入植

先代が家族と共に春に標津を経て馬車に揺られて武佐にきた。山火事で立枯木が黒くなったのが印象に残っている。一戸分の土地面積は五町歩で畑作を営む指導方針でもあった。

今後の課題

私の経営にあてはめての話になりますが、昨年の肉高で搾乳するよりもかなりの収益があり、ムードとして肉畜経営が有利に思われたが、私の家では酪農を薄紙を積み重ねるようになってきたことを忘れることなく、あまり肉高に気をまどわせられないようにと家族とも話し合い、酪農に焦点を絞り経営基準を現況に置き改善策をとりあげていくことを確認しました。

農機具の導入によって限られた家族労力の合理化を画ってきたが機械の経済効果がでてくるようになると更新時期になり、償却費と機械使用年数の延長をどうやって実現していくかが大きな課題となってきた。

後継者育成についても、若い農業者が希望をもってやれる体制が個々で解決していけると思う。

親が営農意欲をもって仕事をしている姿をみるだけでも後継者に教訓になると思う。

現在の農業経営が大規模になったところにむずかしさがあるので、管理技術、簿記等にも力を入れなければならないと思う。

農協青年部
婦人部より花だんコンクールに
五九戸参加

限られた日照時間しかない根室内で、花の播種から育苗そして花だん造りまで、かなりの努力が必要とされる。それらを家族の協力で環境美化を推める農家が多くなってきた。

花だんコンクール参加申込みは中標津農協管内五十九戸、計根別農協管内三十戸、標津町農協管内三十二戸と百二十一戸になり、八月二十八日から三日間審査が行なわれた。

今年の特色は、新らしく参加された婦人部員が増えたことと、総体的にレベルアップされたことである。

審査内容は(一)花の種類と配色、全体的な調和、(二)植え方の工夫、立地条件の活用、(三)花だんと周辺の手入れ、が主な対象とし、内容的に(一)については①同色系を配列しない、②区画は白色系の中間色で、赤、黄系は中心部にその他は輪かくにもっていくと立体的になり、花の持味が活かされと思う、③デザイン、(二)について

五九戸参加

では①草丈の長、短の配置と育苗、②花だんの場所の工夫で道路、傾斜地の活用、③(三)については、①草とりもそうであるが、畜舎内外の清掃と屋敷内の整理整頓も審査対象となる。

花をたのしむ気持は世界各国共通であり特に日本は四季に恵まれているから情緒ある民族ともいわれている。

農協婦人部が推進している花だんづくりは、ただ花だんのみに終ることなく、生産にも結びつく環境づくりの導火線になってほしいその目標に一年づつ前進している、花だんコンクールのみに気をとられるのではなく、家族ぐるみ地域ぐるみで運動を推進してほしい。

八月十八日～十九日
道東ブロック
リーダー研修会

各農協婦人部のリーダー、二百二十名が、十勝川温泉大平原観光ホテルに集り、「くらしと健康を

守る運動」、「農協の使命と仕組みについて」研修をうけ、その後第五分科会で「農家生活と社会保険について」を協議し、全体討議を行った。

経営安定のため畜産物価格の安定を農業団体が統一して行うべきだ。農家住宅の団地化が必要とされているが、現地との協議が少なく、実態を無視している。

婦人農業者の社会保障を差別なく確立してほしい。老人の小遣いをどのようにしているか。などの問題が討議された。

八月二十六日～二十七日

婦人部研修旅行

農協乳、釧路工場を視察

強風雨の中をバスで中標津を立ち、十勝方面へ向かいました。途中バスからおりて、釧路農協乳工場を見学しました。工場の人に会社の説明を受け、生産される行程などを見せてもらいました。そして、釧路工場を後に帯広動物園に向かいました。バスの中では婦人部員の日頃の積み重ねた世間話などできないうでした。あいにくと二十六日は台風などの影響でかなりの雨で、外の景色などあまり見ることが出来ませんでした。しかしせっかくきたのだからという気持ちで、動物園は雨が降って

酪青研が
スポーツ交歓

いるにもかかわらず、日頃牛の顔しか見ていない私たちは、めずらしい動物をたくさん見ることができました。動物園を後にし、目的地である糠平へと向かいました。糠平では夕食後、今年初めて催したグループ別に分かれて意見交換などしました。第一グループは(1)健康とくらし、(2)主婦とおとしよりの小遣いというテーマで田中副部長の進行で話しが進められました。第二グループは(1)牛安にどう対処するか、(2)婦人労働時間の改善というテーマで安達部長の進行で話しが

進められました。最初はなかなか話しが進行しませんでした。慣れ親しむにつれてそれぞれ思っていることなど自由に話し合っていました。終わった後、これからのこういう場をもうけてほしいといっていました。

次の日は、然別湖、阿寒湖などによりました。途中の景色はここらへんでは見られないような、農作物が道路の両側にたくさん作られていました。お土産などたくさん買った婦人部員は元気に中標津へと帰ってきました。

一番牧草収穫も一段落した八月十七日、中標津青少年体育館と中学校グラウンドを会場に、九人制バレーボールとソフトボールを楽しんだ。

参加地区は古樺、中標津、俣落、その他からあったが、チーム編成は、四チームしかできず、バレーボールは俣落、ソフトボールは混成が一位となり、総合で俣落が優勝した。

優勝した
俣落チーム

★良質乳を生産しよう
★良質乳の保身に努めよう

9月・10・月11月

天気予報

札幌管区气象台

気象概要

九月から十一月まで向こう三か月間の北海道の天候は、次のように経過しましょう。

秋は移動性高気圧と低気圧が交互に通る、天気は周期的に変わりますが、例年より晴天が多い見込みです。その中で、秋雨の降りやすいのは、九月前半。九月末から十月上旬には内陸で初霜をみる所が多いでしょう。寒さの目立つのは、十月末、十一月下旬ころの見込みです。

また、この期間に日本に影響す

九月

初めは前線の影響で秋雨が降りやすいでしょう。中旬から天候が周期的に変わりますが、比較的晴天が多い見込みです。

下旬には冷えこみの強い日も現れるでしょう。平均気温は並み。降水量は西部で並みないしやや多く東部で並み。

十月

天候は周期的に変わりますが、

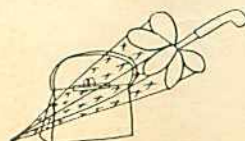
十一月

移動性高気圧と気圧の谷が交互に通る天気は周期的に変わります。半ばころ、北海道付近で低気圧が発達し、一時荒れ模様の日

る台風は一、二個くらいでしょう

移動性高気圧におおわれて、晴天が多い見込みです。上旬には内陸で霜のおりる所が多いでしょう。また月末には一時大陸の高気圧が強まって寒くなる見込みです。中・北部では初雪となるでしょう。平均気温は並みないしやや低く、降水量は並みないしやや少ない。

があります、その後かなり温暖な期間も見込まれます。月末には、北西の季節風が強まり寒くなってくるでしょう。平均気温は並みないしやや高い。降水量は、北部や西部で並み、東部では少ない。

50年度用肥料配送中
置場の準備を

来年度の肥料は予約にもとづき、八月二十一日より、農家庭先への配送を始めた。

数量では本年度の約十五%増位の約二十九万三千袋になりそうである。

配送計画によって十一月末まで五十%以上の配送を終る予定であり、各戸の敷に応じた準備をしてほしい。

運送については、前日または二日前に電話で連絡をします。運送業者が行ったら、自宅が留守

でも判るように協力して下さい。

明年度の肥料情勢は、大幅な銘柄集約等により、コストの引下げを計ったが、燐鉱石、加里などの価格暴騰により高度化成等の大幅値上がりは決定的で、高度化成で二十七・三三%、普通化成で三十一・五%、全品目平均が三十%弱の値上がりとなった。

参考まで品目別の値上率は次の通りです。

品目	成分	袋当値上額	値上率
硫酸	21%	216円	29.72%
尿素	46%	200	29.88
過石	17%	108	24.34
ようりん	20%	181	34.67
高度化成	15-15-15	253	27.32
普通化成	8-8-5	178	31.50
硫酸加	50%	241	36.70
塩加	60%	180	34.95

8月18日—9月3日

北海道農業博覧会

世界の食糧生産が人口の増加に追いつかないため、世界的な食糧不足が重大な問題とされている。

豊かな食生活を楽にする我国でさえ、総必要量の半分も国内では生産されていないので、食糧と人間、人間と農業のかかわりあいを追求めながら、北海道農業の過去と将来を展望し、一般道民にも理解されやすいようにと、開拓史以前にさかのぼって、農業の歩みを振り返り、農具、生活用品が展示された。

トウキビの無料もぎとり、ミニ牧場での動物と子供達のふれあい、ふるさとバザール等の催しがあり、総合畜産共進会には、松田五郎吉さんの三才牝馬と、中川弘さんの牝牛が出場した。

北海道産業貢献賞



農業災害補償事業推進で

共栄の秋山勝彦さん受賞

表彰状と記念品を前に
喜びの秋山勝彦さん

昭和四十九年度の北海道産業貢献賞の表彰式が、去る八月十八日札幌市で行なわれたが、本町から共栄の秋山勝彦さんが選ばれた。この度の表彰は、共済組合関係の「農業災害補償事業」の推進が対象となったもの。

秋山さんは、昭和二十四年、農業共済組合の創立以来理事をつとめ、昭和二十七年から昭和三十八年までは、組合長理事として活躍された。

もとより、この期間は、農業界にとって、非常に多難な時代であった。

「まあ、あの頃は本当に大変な時代でした。役職員ともども、その苦労といったら、今では考えられないような状態だった。それは一人共済だけではなかったが……」秋山さんはそういつて当時を回想し、その労苦に対するこのたびの表彰を、心からよをこんでいる様子だった。



共済組合

家畜共済引受

共済金額昨年のに二倍に

家畜共済の七月末日引受実績がこのほどまとまったが、組合員皆さんのご理解とご協力によって、一頭平均一〇五、五二九円（昨年度実績四九、八八五円）の共済金額となり、昨年と比べ大幅アップの成績を納めることができた。

別表に昨年同期と対比しながら引受状況を示しましたが、各月とも好成績を得ております。この表で本年度の場合、引受時期を六月に統一したため、四月、五月は六月までの短期引受となり、六月に改めて加入という実績になっております。

一方死亡廃用等による共済金の支払状況をみると、この加入の実績があらわれ、補償の充実がなされてきているという数字になっている。

たゞ、本年度四、五、六月については、昨年引受の部分が、この支払対象の中に多く含まれているため、それほどの数字になっていない。

また、この高額共済金額の実績のうち一つの要因である人工授精の給付があげられるが、これについても、八月の引受をまわって、それぞれ給付精算するよう事務がすすまっています。

包括共済引受状況

49 年 度				48 年 度				
	頭 数	頭 数	共済金額 千円 円	一頭平均 共済金額 円	戸 数	頭 数	共済金額 千円 円	一頭平均 共済金額 円
4 月	153	4542	479,721	105,618	160	4161	209,901	50,444円
5 月	10	331	28,494	86,705	8	282	12,276	43,531
6 月	539	16,683	1,767,354	105,937	397	10,991	548,552	49,909
7 月	15	334	34,384	102,946	11	274	13,125	47,901
計	163	4873	508,215	年度内満了短期	576	15,708	783,854	49,901
	554	17,017	1,801,738	6.7月加入分				

死 廃 事 故 調

49 年 度				48 年 度			
頭数	支払共済金	一頭平均支払共済金	頭数	支払共済金	一頭平均支払共済金	頭数	支払共済金
4月	27	1,127	41,740	14	418	29,857	
5月	39	1,957	39,897	11	355	32,272	
6月	40	2,144	53,600	35	1,164	33,257	
7月	77	5,847	75,935	23	885	38,478	
計	183	11,077	60,530	83	2,822	34,000	

注意しましょう

『財産管理』

近頃は、金融ひっ迫金詰まりということもあって、ますます悪質化した農家の不動産売買や、金融取引引きをめぐって、厄介な問題が発生しております。その事例として、

組合員のAさんは、最近自分の土地を売ったので、その代りに不動産業者を通じて山林を買った。ところがあとになって、この山林の半分は保安林であり、実際は使

えないことが分った。さらに悪い

ことは、この土地は転売されたものであり、この売主が悪質な業者であるため、Aさんの払った代金

が実際のものとの所有者に渡らないことも考えられる。そうするとAさんの所有権移転登記ができないおそれもある。

事前の物件調査や業者の信用度など注意しましょう。

電線の付近では

発砲しないで下さい

十月一日はハンターにとって待ちに待った日です。

しかし、毎年この時期になるとハンターの不注意による電線線の被害が増加します。散弾の一片が電話ケーブルに穴をあけると、その先全部の電話が故障になります。銃弾を恐れているのは鳥類ばかりでなく電話のケーブルも同様です。



(中標津電報電話局)

狩猟愛好者のみなさん、電線線は公共のもので、電話線の付近では絶対に発砲しないようハンターのマナーを十分まもってください。

農作業 秋季安全運動

九月からは馬鈴薯等の収穫や、二番草の収穫期に入り、日も短くなり気もせわしくなつてか例年農作業事故が多くなっています。機械の再点検、服装の整いに十分気をつけ、重農作業の場合は一人で作業をすることなく必ず補助員をつけるようにしましょう。

また、道路交通事故全国一の汚名を返上するための安全運動も実施されており、運転免許所持者の安全運転とモラルの向上を望みます。

★国鉄からお願い★ 牛・馬などは 線路内立入り禁止

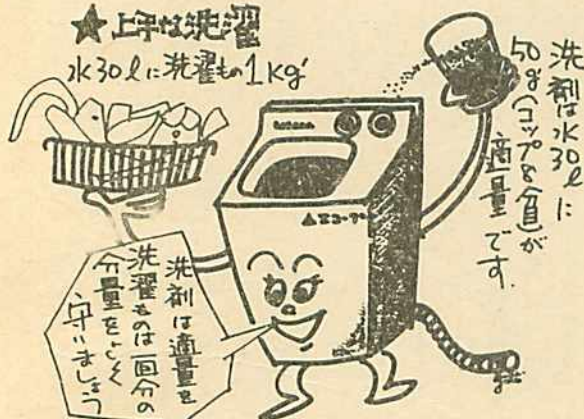
鉄道線路上を、牛・馬などが立入り通行し、列車の運転を妨害し、事故が発生しております。

この事故防止のため、沿線のみなさんの適切な放牧管理を望みます。牧さくの捕修、新設等に十分、気をくばって無事故にご協力下さい。

暮らしのアイデア

★上手な洗濯

水30Lに洗濯物1kg



洗剤は水30Lに50g(コップ8杯)が適量です。

洗剤は適量を
洗濯ものは回分の
分量をこく
干しましょう

★食品保存の適温

鶏肉	1~4℃
豚肉	3~8℃
牛肉	5~8℃
牛乳	4~8℃
ビール	6~8℃
缶詰	6~8℃
冷凍肉	10℃以下
冷凍魚	2~6℃

いっも新鮮です!
Aコープ生鮮食品

冷蔵庫の温度は17℃以下に保つてにしよう。上段は低温で下段は高温で温度が高くなるので生もの腐敗しやすいものは上段に入れます。おしりや入れたりすると冷凍が壊れます。